

会 議 録

会 議 名	令和5年度第1回3市ごみ減量推進市民会議		
事 務 局 (担 当 課)	小金井市ごみ対策課、日野市ごみゼロ推進課、 国分寺市ごみ減量推進課		
開 催 日 時	令和5年7月18日（火）午前10時00分～12時00分		
開 催 場 所	日野市クリーンセンタープラスチック類資源化施設2階 多目的室		
出 席 者	委 員	<出席者：14名> （学識）宮脇委員長 （日 野 市委員）加納委員・伊藤委員・小野寺委員・高松委員 （国分寺市委員）八ツ藤委員・森田委員・佐藤委員 （小金井市委員）林委員・續木委員 （行政）小澤委員（日）・栗原委員（国）・今井委員（小） 鈴木委員（浅）	
	事 務 局	日 野 市：阿部係長・大和主任 国分寺市：西脇係長 小金井市：高田係長・立崎係長	
欠 席 者	伊藤委員（日野市委員）、石垣委員（国分寺市委員） 橋本委員（小金井市）、齋藤委員（小金井市）		
傍聴者の可否	可	傍 聴 者 数	0人
会 議 次 第	1 小委員会からの中間報告 (1) 情報発信・環境学習グループ (2) 減量グループ 2 その他 3 閉会		
会 議 結 果	別紙審議経過のとおり		
提 出 資 料	別添のとおり		
そ の 他			

事務局	<p>それでは、ただいまより令和5年度第1回3市ごみ減量推進市民会議を開催いたします。</p> <p>会議を始める前に、4月1日付人事異動により行政担当の委員の変更がございましたので、御報告と御紹介をさせていただきます。</p> <p>まず、日野市でございますが、小澤ごみゼロ推進課長が委員として着任しております。</p>
小澤委員（日）	<p>高尾の後任で4月1日より着任しております小澤でございます。よろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>浅川清流環境組合から選出の委員でございますけども、鈴木総務課長が委員として着任をしております。</p>
鈴木委員（浅）	<p>浅川清流環境組合総務課長の鈴木でございます。前任の西村のほうが小金井のほうに帰任いたしまして、4月1日から総務課長のほうをやらせていただいております。よろしくをお願いいたします。</p>
事務局	<p>続きまして、当日の配付資料の確認をさせていただきます。全部で6点ございます。まず令和5年度第1回3市ごみ減量推進市民会議の次第、浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設小学生見学用の小冊子ということで「私たちの可燃ごみ処理施設」、「私たちの可燃ごみ処理施設」のページ割表、見学者配布用冊子作成業務委託の仕様書、食品ロス意識調査（案）、令和4年度第3回3市ごみ減量推進市民会議の会議録、以上となります。もし不足等ございましたら事務局のほうまでお申出をお願いいたします。</p> <p>それでは、宮脇委員長より御挨拶いただき、その後の進行をお願いしたいと思います。宮脇委員長、よろしくをお願いいたします。</p>
宮脇委員長	<p>明星大学、宮脇でございます。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>様々、それぞれの小委員会でもかなり丁寧に作業を進めていただいていると思います。資料を事前に確認させていただいたんですけども、かなり時間を割いて細かなところまで検討いただいているかと思います。今日は全体会ということでございますので、それぞれの小委員会でのグループごとの検討内容についての報告をして意見交換をし、その上でお互いのグループからまた質疑応答などをさせていただいて進めていければと思っておりますので、ぜひ積極的に御発言いただけて進めていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。ちょっと暑いので体調が崩れてということもあるかと思っております。少し欠席されている委員の方もいらっしゃいますので、皆様方も、そのあたり無理をせずにといいところもありますけれども、ぜひ活発に御議論いただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、ただいまより会議を開催させていただきます。会議を始める前に、傍聴の有無について事務局よりお願いいたします。</p>
事務局	<p>本日ですが、まだ傍聴者はお越しになっておりません。</p>
宮脇委員長	<p>分かりました。</p> <p>この会議は原則公開となっておりますので、傍聴者の方が途中で来られたときには途中からお入りいただくことでよろしいでしょうか。</p>

<p>八ツ藤委員 (国)</p>	<p>それでは、議事に沿って会議を進めてまいります。議事次第の1番目から順番に参ります。</p> <p>まず、小委員会からの報告というところでございます。初めに情報発信・環境学習グループから、現在の検討内容について御報告をいただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは情報グループから報告をさせていただきます。</p> <p>今年度の第1回情報発信・環境学習グループ会議を6月29日に開催しております。説明の資料がございませんので、口頭で報告をさせていただきます。</p> <p>この第1回の会議では、まず2月の全体会議で御報告いたしました浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設の見学小学生向け小冊子、一応ネーミングをいたしまして「私たちの可燃ごみ処理施設」ということになりましたけれども、この作成につきまして行政委員の今井課長のほうから、作成業務委託会社が決まったということで、その契約内容と今後のスケジュールにつきまして御説明を受けております。後から課長のほうから御説明いただきますけれども、皆様のお手元の資料「見学者配布冊子作成業務について」でございます。</p> <p>それから次に、行政のほうで6月16日の業者との下打合せを行ったということで、この際に業者に提示いたしました第1校、これはたたき台的なものじゃないかなと思いますが、これが資料として配付されたので、この内容につきましてページごとに我々の意見を出し合っております。それにつきましても、皆様のお手元の資料、その次の「私たちの可燃ごみ処理施設」の小冊子がありますけれども、これについても課長のほうから御説明いただきたいというふうに思っております。</p> <p>最後に、私ども市民委員のほうからは、今後の編集につきまして、まずは書体あるいは字の大きさ、色彩等はユニバーサルデザインを意識して編集してくださいと。2番目としまして、小学校4年生、小学生向けの小冊子でございますので、文章表現が難しい言葉の解説や振り仮名、どういう形で振り仮名を振るかというようなことも統一していただきたいと。それから、イラストにつきましては既存のものを使うという報告を受けましたので、寄せ集めになると思っておりますので、イラストは全体としてできれば統一感あるものにしていただきたい、それから写真のキャプション、この説明などについても、各写真、ある程度統一したほうがいいのではないかと申し上げております。その次は、ロゴマークやイラスト等、これは当然使用許可の必要なケースもありますので、その辺、許可が必要かどうかのチェック、あるいは当然のことながら文章表現と係数とか写真等、この辺は間違いないようにチェックをしていただきたいということをお願いいたしております。あわせて、これは小学校4年生の見学児童全員に配りますので、できれば市の教育委員会の意見も聞いていただきたいということも申し上げております。</p> <p>以上が、第1回情報グループ会議の内容でございますが、今後、業者から初校から2校、第3校まで順次、月に1回ぐらい提出されるのではないかと申しておりますので、情報グループといたしましても、その都度、意見を申し上げたいと思っております。先ほど申し上げた業者との契約内容、それから今後のスケジュール、及び、業者に6月末ぐらいですかね、入稿されたと聞いておりますので、その原稿について今井課長に御説明をお願いしたいというふうに思います。よろしくお願ひします。</p>
------------------	--

今井委員（小）

今、八ツ藤リーダーのほうから御報告ありましたとおり、「私たちの可燃ごみ処理施設」、この見学者用のリーフレットの作業の進捗を進めているところになります。若干、説明をさせていただきますと、本日の資料「見学者配布冊子作成業務について」というものになります。こちらにつきましては、浅川清流環境組合さんのほうで予算措置していただいて、その後、契約の締結に向けた事務を進めていただいたところ、国分市さんにごさいます株式会社コモダ印刷、こちらが落札者と決定されております。本日お配りしている資料、この仕様書のとおり契約内容を締結したというものになってございます。

入稿については、一番下段に書いてございますとおり令和5年6月16日、先ほど八ツ藤リーダーからもお話がありましたように、行政側で、私どもと浅川清流環境組合鈴木課長の御同席の上、コモダ印刷と面談し、打合せを開始したところになります。その後、6月29日に環境学習グループのほうを開催させていただき、入稿の内容の確認をしていくというところで、作業にお付き合いいただいたところになります。

そこでお示ししておりますのが「私たちの可燃ごみ処理施設」ページ割表」、こちら八ツ藤リーダーを中心に取りまとめいただいて、掲載する内容、コンセプトなどを整理していただいたものになりますけども、こちらの内容を改めて確認させていただき、そこで少し印刷、イラストや写真の差し替えなど、整理したほうがいだろうという御意見をいただいて、速やかに着手できるものということで行政のほうで進めさせていただいて、入稿させていただいたものが本日冊子でお配りしている「私たちの可燃ごみ処理施設」というものになります。

一番上の表紙の部分、これまで整理していたのはイラストで書いてございましたけども、浅川清流環境組合さんのほうから画像を提供いただき、全景写真が見えるものということで表紙を整理させていただいてまして、また、日野市、国分寺市、小金井市の市域が分かるイラストデザインを整理させていただいております。

1枚、1ページおめくりいただきまして「はじめに」というページ、「もくじ」というところ、こちらはしっかり目次は残して冊子の内容が分かるようにしようということで各小委員会の委員の御意見もありましたので、こちらは残させていただいています。「はじめに」の文面につきましては、今まだ現状仮置きですので、これについては行政側で整理をしていくという流れになります。

右側、見開きの1ページ目、「共同処理の3市を知ろう」というところになります。こちらには、各市の特徴、キャッチフレーズを掲載させていただくとともに、令和5年4月1日現在の人口・世帯数、また、市の歴史・名所、こういったものを統一して記述をしていこうということで整理をさせていただいています。また分かりやすいように、市の鳥や市のキャラクターなどについては画像を整理させていただいて、取りあえず入稿にこぎ着けるために素材をちりばめた程度になってございますけども、今後これを元にデザインの校正をかけていくという流れを考えています。

続いてもう1枚めくっていただきますと「3市のごみの種類とゆくえ」というところで、日野市、国分寺市、小金井市それぞれのごみ処理のフローを分かりやすく概略図として示していくということで考えてございます。今現状、まだ文体や文字の体裁、フォントや文字の大きさ、画像などについては、未整理の状態になってございますが、今後これも

印刷業者さんとの打合せの上で、しっかり整理をしていこうということになってございます。

続いておめくりいただきますと、「3. 可燃ごみ処理施設を見学しよう」ということで、こちらの中身につきましては浅川清流環境組合さんに御協力いただいております。処理施設の中のごみの処理のフローというところで整理をしてございます。今後少し中身の表示の内容や文体などについてしっかり整理をしていきたいということで浅川清流環境組合さんからもお話をいただいておりますので、もう少しブラッシュアップしていけるかなと考えてございます。

続いておめくりいただきますと左側のページに「可燃ごみ処理施設を見学しよう」ということで、この浅川清流環境組合さんのほうから、通常、見学で行っている受け答えの、主な質問の内容や御回答の内容というものを整理して書いていただいているものになります。ただ、6月29日の情報グループの会議において、このページに組合施設の配置図、敷地内の施設配置というようなものの図柄があれば書いていくのも一つではないかということで御意見をいただいておりますので、今後、別添の配置図、データを送付いただき整理をさせていただければと考えています。

右側のページ、「ごみの最終処分場を知ろう」、こちらのページになりますが、こちらは日の出町にございます二ツ塚最終処分場、こちらのほうの紹介内容ということで整理をしていこうと考えてございます。

もう1枚おめくりいただきまして、5番目「食品ロスをへらそう」というところと、右側のページ「6. プラスチックごみをへらそう」、こちらについては、行政側でももう少し整理をしていこうと考えてございます。少しまだ文字の分量が多いので、イラストや画像に差し替えられるものについては、そういったところを差し替えていこうということと、あと、まだちょっと数字のほうが最新の数字になっていないところもございまして、数値の差し替えなどについてしっかり整理をしていこうと考えてございます。

最終ページになります。「7. リサイクルで何に生まれ変わるか？」というところになります。こちらについては、先ほど八ツ藤リーダーからもお話がありましたように、今現状はリサイクルの商標、トレードマークなどを記入してございますので、こういったところの掲載許可やそういったところをしっかりと事務として処理をしていくということ。また、少し委員の中でも行政側でもちょっと見解が出ているところがございまして、例えばこの冊子を見学者が持って歩いていただくときに、一番裏のところにメモ書きができるようなページがあってもいいのではないかとこのところもありますので、併せて5番、6番、7番の部分の分量についてもしっかり整理をさせていただいた上で、掲載項目内容をしっかり定めてまいりたいと考えております。

少し戻っていただきまして、仕様書の一番後ろのページになります。今後の予定ということとまた進捗状況を御報告させていただきますと、本日資料にさせていただいた冊子の部分についてはデータとして整理をさせていただいて、既にコマダ印刷様のほうに入稿させていただいております。今現状、その編集作業を進めておられまして、8月の頭、1日、2日ぐらいには1回データとして行政側に返信いただけるような流れと確認してございます。内容確認後、改めて8月下旬の目安になるかと思っておりますけれども、情報発信・環境学習グループの小委員会を開催させ

	<p>ていただいて1校の内容というものを整理させていただいて、そこから本格的なスタートかなと考えてございます。</p> <p>今後の予定というところになりますと、今お話ししたように若干遅れが出てきているところがございますけども、初校、2校、3校と3回の校正作業を進めさせていただいて、ある程度上がってくるのは10月末もしくは11月末ぐらいになるかなと考えてございます。当初の予定ですと11月末が納品ということでしたけども、若干の遅れを見越しまして来年の1月末まで契約期間とさせていただいてございますので、今期の市民会議の終了までには一定成果を上げられる見通しと考えてございます。</p> <p>補足資料の説明は以上になります。</p> <p>よろしいですか。どうもありがとうございました。ただいま情報発信グループの内容について御報告をいただきました。</p> <p>この内容につきまして質問または御意見などを伺いたいと思いますので、よろしく願いいたします。そうですね、質問というだけでなく、さらにやっていただいたほうが良いなというようなことも含めて御意見を出していただければと思います。それから、いつも同じですけれども、録音して要点録を取っておりますので、御発言の前にお名前をおっしゃってから発言をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>いかがでしょうか。今御紹介いただいたとおり、内容については大分決まってきたということで、グループの皆様からたくさん御意見いただいた内容が十分に反映されているものと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、先ほど御紹介があったように、小学校4年生が一番見学に来ることが多いということで、4年生に対応できるようにということで、若干文字数を減らそうとかという御意見も先ほど出ていたかと思えます。</p>
宮脇委員長	
小野寺委員(日)	<p>ちょっと立ち入ったことを伺いますけど、費用はどのぐらいかかるんですか。</p>
鈴木委員(浅)	<p>今、詳細契約額は把握していませんが、入札の結果、大体50万円弱ぐらいだということで理解いただければと思います。</p>
八ツ藤委員(国)	<p>最後のページのところ、先ほど行政委員のほうから、メモ的に使うとかいろいろあると思うのですが、私がこれを起案して私が言うのも何ですけども、非常にバランスが悪いと思いますし、右のほうには環境ラベルが出ていますが、左のほうの資源ごみと生まれ変わるものところが字ばかりなので、できれば、それぞれ新聞のイラストなどを貼って、イラストは結構出来ているものもありますので、そういう形で分かりやすくしたほうが良いと思います。その右の環境のほうは逆に言うをやめちゃって、そのほうがすっきりして分かりやすいかなと思います。私が原案を作りましたが、バランスも悪いし、見にくいかなと思っています。もう原稿は入れられたということですが、もし初校段階で変更できるとか、あるいは、その前に変更できるようにであれば、私もでたたき台みたいなものを作って御提示させていただきたいと思います。見直したほうが良いかなというふうに思っております。以上です。</p>

今井委員（小）	<p>今、八ツ藤リーダーからお話がありました件については、ちょっと印刷業者とも話をさせていただいて、整理できればと考えています。</p> <p>やはり文字を少し減らしていったって、中身をどれぐらい詰めていけるかということもありますし、やっぱりこれは見学者の方に持たせていただく冊子なので、少し自由に記述できるページがやっぱりあったほうがいいかなというのはありますので、どのぐらいボリュームを詰めていけるかということと、あとイラストを増やしていける部分、そのあたりの構成も含めて相談していきたいなと思っていますので、また原案をお見せできればと思います。</p>
高松委員（日）	<p>実際の冊子の大きさはこのA4サイズですか。この大きさだと、子供さんが持ちながら書くには、少し大きいかと思ったんですけど、なかなか小さくするのは難しいですかね。見学の時に他にも資料って渡されますよね、</p>
鈴木委員（浅）	<p>学校さんによって持っていってらっしゃるものとかは結構ばらばらなところがあるんですけども、まず、A3サイズの二つ折で、今渡させていただいているサイズイメージでやらせていただいて、最近学校なんかでは、A4サイズの紙を使っていってらっしゃるケースのほうが多いのかなというイメージはあります。我々のほうの事務方の規格もA4サイズが主流になっています。あと小学4年生が専ら「私たちの市を知ろう」といったような単元でいってらっしゃるので、4年生ということだと、あまり紙が小さくなっちゃうと逆に書きにくいのかなということもあるので、慣れているサイズなのかなというふうには個人的には思っております。</p>
續木委員（小）	<p>こちら、最初の「共同処理の3市を知ろう」というところで、日野市、国分寺市、小金井市。日野市ですと令和5年11月3日で市制施行60周年、また国分寺市は令和6年11月3日、市制施行60周年。小金井市だけ記入されてなかったんですけど、ほぼ同じぐらいの時期で60周年だったんじゃないかなと思ったんですけども、書いていただけたらいいかなと思いました。</p>
今井委員（小）	<p>今年65周年を迎えています。今御意見いただいた件については考えさせていただきたいなと思いますけれども。これが刊行されるのが令和5年・6年度に配布されるものがメインになってくるのかなという中で、その年度に我々は区切りを迎えませんので、ちょっとそのあたりの表記は考えさせていただければと思います。</p>
宮脇委員長	<p>確かに60周年とか非常によろしいことだとは思いますが、資料を何年使うかということもあるので、検討したほうがいいのかもしいですね。</p>
林委員（小）	<p>今のことに関連して、このページって何か字がすごく小さいですよ、それから、前文のところには振り仮名が振ってあるんですけど、中には振ってないでしょう。でもこれ、やっぱり中も振るなんてちょっと考えられないですよ。だから、ちょっとその辺、悩ましいんですけど、字の大きさとここに載せる内容、言ってみれば各市の商業みたいなものなんですけど、見たときに細くなるので、どこまで載せるかというのもちょっと悩ましいような気はします。</p>

それから、次のページの「ごみのゆくえ」のところでちょっと気になったのは、日野の場合に、プラスチックという箱があって、プラスチック製品になると。リサイクルできなかつたものというのが、上に四角い箱で書いてありますが、この関係がよく分からない。国分寺や小金井で見ますと、プラスチックが入ってくるのはクリーンセンター、例えば小金井とクリーンセンターで、リサイクルできなかつたものが焼却処理。小金井はもう一つ、リサイクル施設に行つてリサイクルできなかつたものがまた焼却処理。国分寺は清掃センターでリサイクルできなかつたものが焼却処理と、何か少しずつ違うような気がしています。それは市のやり方が違うということなのかもしれないですけど、ごみのことを少し知っている者から見ると何か少し違和感があります。

なぜそんなこと言うかということ、大人の人でもそうなんですけど、プラスチックごみは、どういうふう処理されているのか、行方が全く見えないと言う大人の方が結構多いんですよ。だから、少しでもこういう冊子で情報として、プラスチックの行方が分かるようなものにしてあげばいいのかなと思います。

最後のページのプラスチック、ペットボトルというところに、いろいろなものに生まれ変わりますよ、という書き方をしているんですけど、小学校4年生程度であればプラスチックはプラスチックに生まれ変わるんですよというように、いいのかもしれない。

細かい話ですけど、小金井のところ粗大ごみの「そ」が平仮名になっているんですけど、国分寺が漢字になっています。どちらかという、これは漢字のほうがいいと思います。

あと施設のところですが、ずいぶん絵が細かく見えるが、一般向けにつくられている施設案内と比べ、こちらのほうが細かいですか。

鈴木委員（浅）

基本これは小学生というか子供向けに作っているパンフレットをここに流し込んでいるような形になります。

林委員（小）

分かりました。これは同じであれば、もう既に出ているものと同じだということですね。

今井委員（小）

最所に御指摘いただいたフォントの大きさ、ルビ、振り仮名の部分については、ちょっと小金井市の教育委員会のほうに確認したところ、小学校4年生ぐらいのものであれば、平仮名と漢字を使い分けるのも一つだけれども、全ての漢字に振り仮名を統一して振っていただくことで対応していただいて構わないという見解をいただいているので、その方向で考えたいなと思っています。なので、先ほど御指摘あった「粗大」の部分については、小金井は多分社会科の教育のほうでは「そ」を平仮名表記にしています。

振り仮名を振る形になるかなというところ、あとフォントの大きさはコマダ印刷さんとも話しているんですけども、見やすい文体・字体でしっかりフォントは整えていこうと伺っていますので、そこは進めていきたいと思っています。

あと処理フローの部分については、これはまだ3市の行政間でもどこまで温度を合わせるかというところで、まずスタートを切るところでフローをしっかりつくっていこうということでスタートしたばかりなので、ここはもう少しブラッシュアップしていけるかなと思っています。

宮脇委員長	読み方とかは、各市で違いがあるところもあるので、逆に統一してしまうと小学生が、これ、何かいつもと違うなみたいになってしまう。
林委員（小）	燃やすごみ、燃やせるごみ、可燃ごみもです。
今井委員（小）	用語の統一というか、用語解説のところで、各市の呼び方が違うものを、整理して表記しなければいけないと思っています。
林委員（小）	分かりました。これは、今、各市で使われている用語をそのまま使うということです。
宮脇委員長	特に不燃とか燃やさないは、市によって中身がちょっとずつ違ったりしていたと思います。日野の不燃は、私が見ると結構燃えるものが入っている。
林委員（小）	今はどこも不燃って、ある意味、何でも入れているんじゃないかという気がしています。
宮脇委員長	<p>なかなか用語の統一というのは難しい、長期的に見ていけばあるかもしれません。</p> <p>プラスチックの件ですけど、多分行政の方は書きにくいと思うんですね。最終的に容器包装プラ、容器包装リサイクルに回っているプラスチックって、リサイクルの方法が自治体で選べないんですよ。入札で勝手に今年はこれになりましたとか、こっちになりましたとかって、場合によっては燃料みたいのになってしまったりとか。多分、こういう処理フローでは、こういう、プラスチック製品は施設で終わっているというスタイルかなと思います。また検討いただくといいと思います。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>いろいろ各ページに前文があるんですけども、そもそも第1校というか、これは各市が書いたのをそのまま寄せ集めただけの話なので、そこをきちっと整理はされてないということなんです。ですから、その辺はやはり例えば1ページの前文でも、共同処理の3市を知ろうということを書いているんです。その右に地図があるんですけども、見直しをしたほうがいいかなと思います。表紙に地図が出ていますので、改めて必要かどうか。東京都内の位置図ですが、これはこれでもいいのかもしれないけど、それよりも前文のところを、何のために3市を知ろうということで、3市を掲げているのか、子供たちにはそれぞれの自分の市は分かっているけど、ほかの市のことも興味を持って仲良くしてやりましょうという意図があると思いますので、その辺、事務的じゃなく、文章が子供たちに語りかけるような形で、他のところもそうなんですけれども、そういう形で、若干見直しをしたほうがいいかなと思っています。</p> <p>また、初校が出てくれば、全体の文字のバランスとか配置とか大体分かってくるので、前文はどれぐらいの長さがいいのかということもあると思いますので、そこは見直しをして、子供たちに興味を持ってもらうとか、分かりやすいとか、もっと幅広く知識をつけてもらうとか、この小冊子の目的について、何か少しずつ前文に入れるとか、そういう形が必要かなというふうに思っております。</p>

<p>宮脇委員長</p>	<p>順次、何回かまた校正の機会があるので、統一的なところもまた必要なかもしれませんので、少し検討を進めながら、多分初校が戻ってくるたびに、またグループの八ツ藤委員を筆頭に頑張ってくださいことになるのだと思いますが、チェックをしていただいて意見を少し返していただくといいなと思います。ありがとうございます。</p> <p>そのほかにございますでしょうか。何かお気づきの点とかあればお伺いしたいと思います。</p> <p>決して今日でもう全て何も意見に入れられないわけではありませぬので、もしよろしければこのあたりで一旦少し先に進ませていただいて、また、最後のところで少しお時間を取らせていただいて、再度、何か追加でコメントがございましたらいただこうかと思っておりますので、よろしくお願ひします。</p> <p>それでは、情報発信・環境学習グループの皆さん、本当にありがとうございます。</p> <p>それでは続けてまいります、次第の(2)になりますけれども、減量グループより御報告をお願いしたいと思います。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>林委員 (小)</p>	<p>それでは、減量グループの御報告をさせていただきます。</p> <p>減量グループでは、前回の御報告が2月だったと思ひます。それから3月23日にコープみらいとの打合せを行っております。内容ですが、東京本部の方とそれから日野と国分寺、小金井、3つのブロックの責任者の方に来ていただき、イベントを何かできないかということで減量グループの委員と打合せをしております。お手元に追加でお配りした資料、第1回会議メモ3月23日というのと、もう一つが6月30日の減量グループの分科会の会議メモと2枚お配りしましたが、これを細かく御説明しても最後の話とつながらないので、ざっくり説明しますと、3月23日の会議では、コープではこれまで、品ロス削減の活動として、例えば手前取りのポップを自前で作って店頭で啓発を行い、また、ブロックニュースで川柳を募集して食ロスの啓発を行ったことがあるというようなお話がありました。それで、イベントをやるのであれば、ファミリーが参加できるようなイベントがいいですねというような御意見や、それから、会場は浅川清流環境組合で焼却施設の見学も兼ねてやるのがいいんじゃないかというような御意見など、いろいろいただいたんですが、最終的には、移動手段や、集まっていた方法とか、イベントを開催するに当たっての問題、課題、予算化の課題などがありまして、話をしていく中で、コープみらいがイベントを実行する主体にはなっていないにくいということがわかりました。また、市役所の行政委員とそれから減量グループのメンバーでこのイベントを担うのは現実的にはやっぱり難しいんじゃないかというのが、いろいろと話し合っていく中で見えてきて、コープみらいとの打合せの結果に基づき、話をした結果、食ロスに関するアンケート調査をやったらどうだろうという話に落ち着いています。お手元に配布しているアンケート調査の原案については、私と行政委員で相談しながら作成し、作成したアンケートは減量グループの委員に回覧で見いただひしています。これはスマホで回答できるアンケートで、回答していくと次の設問が出てくるような形のアンケートになっています。</p> <p>なぜこういう話に傾いていったかといひますと、食ロスの削減に関す</p>

	<p>るイベントというのは、最近では、小金井で青年会議所が主催するレシピのコンテストをやったり、民間団体で取り組んでいるものがあるということで、レシピのコンテストなどは、民間団体に任せておいていいのではないかということで、食ロスアンケートという話になっています。</p> <p>特に食ロス削減については、会議の目的でもありますし、広い範囲の3市の市民が、食ロスについてどのように捉えているのかという意識調査をまずやってみようということになっています。第一歩みたいな話になってしまいますが、そういう方向に進めていこうと考えています。</p> <p>アンケートの中身について、減量グループの委員の方からコメントをいただいている途中です。設問ですが、設問1は年代、設問2はどちらの市民か、設問3で、食品ロスを知っていますか、言葉を知っていますかという、非常に入り口の設問となっています。それから、食ロスを減らすために気をつけている、取り組んでいることがありますか。取り組んでいることがあれば、当てはまるものをチェックしてください。ここでは設問が隠れてしまっていますが、食ロスに取り組んでない、知らないという人に関して、あるとすればやれるものが何かありますかという設問が別にまた用意されています。ここでは画面の都合上、食ロスに気をつけていることがあるということ的前提にして設問5につながっていますので設問6が出てきていませんけれども、一応ないという人のための設問も用意してあります。それから設問7で、食品ロスを減らすことにあなたが取り組みにくい理由は何だと思いますかということで何項目か挙げています。それからあとは自由記述。設問の数は、全部答えても8問で、直接の問いかけは7問、食ロスに関するものはそのうちの5問という内容になっております。</p> <p>これは、ネット上、スマホ上でやっていただくことを考えていますので、あまり長い設問や選択肢が沢山あると、途中でやめてしまうんじゃないかということを懸念し、非常にシンプルに、最低限の基本的な食ロスに対する3市の市民の意識をつかみたいということで設定したものです。</p> <p>今日もこの会議が終わったところで減量グループの打ち合わせをやるうと考えていて、もう少し細かい設問、あるいは設問の仕方、これについてもまだ修正が入る可能性があります。ただいずれにしても、これを各市の市報にQRコードを掲載し、アンケートに答えられるような、そういう仕組みで進めていきたいと考えております。8月中にはアンケートの内容を確定し、打ち合わせの中では最大でも設問数20問程度としたんですが、極力絞って少ない設問で皆さんに問いかけようと考えています。</p> <p>当初の予定から変わり、食品ロスに関しては一番基本のデータ収集という話になってしまうんですけども、この結果により、次のアプローチ、3市の市民に対してどの部分にアプローチをしていくかというのが見えてくるのかなと考えています。以上です。</p> <p>それでは、ただいま御紹介いただきました減量グループの報告、主に経緯とアンケートを実施するという内容につきまして、質問、御意見などがございましたらよろしくお願ひいたします。いかがでしょうか。</p> <p>広報にQRコードを載せてそこから入っていただくんですね。広報を見てアンケートをやろうというきっかけというか、それが大事ですよ</p>
宮脇委員長	
加納委員（日）	

林委員（小）	<p>ね。そこはどんなふうに考えていますか。QRコードにかざしてこのアンケートを答えようと思わせることが、大事なかなと思います。</p>
	<p>そこはまだ細かい議論していませんが、食ロスのアンケートをやります、QRコードを載せましたというだけで皆さんが答えてくれるとも思えない。ただ、できるだけ露出度を高く、いろんな媒体を使って、食ロスに対するアンケート調査をやりますということを告知していかなきゃいけないと思うんですよね。小金井市でいうと市報のごみ特集号みたいなものもありますし、それとは別に、例えば市内の掲示板で周知するとか、そういうことができるかなと思います。</p>
	<p>広報媒体で、3市のごみ減量市民会議が、今の食ロスの状況はこんな状況です。それについて、皆さんのお考えを教えたいので、アンケートを行います。QRコードからアンケートを行います、場合によってはペーパーのアンケート用紙みたいなものも用意しなければいけないかもしれませんが、まだそこまでは議論できていません。</p>
八ツ藤委員（国）	<p>質問です。これは3市一斉にやるという考えですか。</p> <p>それからもう一つは、先ほど加納さんからお話がありましたように、どう告知するかという意味で、例えば来年の3月に各市ごみ関係の特集号で、今まで提案してきた市民会議の情報を載せたりしましょうということで、食品ロスを減らそうということで、日本の食はこういう状況ですと、それについて3市で協議した結果、まず意識調査を始めたいということをしてPRして一斉にやるのか。</p> <p>それからもう一つは、このアンケート結果の使い方という問題もあると思うんですけど、どのように利用しようとしているのか。利用する目的に対して、この設問が一致しているかどうかということも議論する必要があると思うんですけども、その辺はいかがでしょうか。</p>
林委員（小）	<p>3市一斉でやることを考えています。</p> <p>それから、特に今の話の中では、来年の3月という話でしたが、これは市によって違うのかもしれませんが、小金井の場合は、ごみ特集号が年間3回出していますので、秋にも出せるんです。そういう機会を考えています。来年の3月までにスタートをしようということでは必ずしもありません。</p> <p>それから、設問ですけど、今まで世の中でやられているいろんなアンケートを見てきているんですが、基本的にはそれほど大きな違いはないとか、ある意味、定型化しているように思います。出てきた答えによって、どの部分を市民の皆さんにアピールしていくということが、浮かび上がってくるのかなと思う。八ツ藤さんがおっしゃっているような具体的な議論というのはまだできていません。</p> <p>ただ、設問そのものは、アンケート結果を想定して、設問を考えるとというようなプロセスは経なくても、世の中で行われている設問の中から選んでいって流していけるんじゃないかなという気はしています。</p>
高松委員（日）	<p>すいません、10月に食ロス月間があるんですよね。それに向けてという方向性は。</p>
林委員（小）	<p>イベント的には、10月の食ロス月間に合わせる形で、各市の市報で</p>

宮脇委員長	<p>例えば10月1日号でアンケートをやりますよというのを皆さんに告知したらどうかなという話は出ています。</p> <p>設問内容と得られる結果も考えていただけたらといった御意見もあったかと思います。</p>
林委員 (小)	<p>そうですね。答えは出たけど、手の打ちようがないという話で、次の行き止まりに到達するのはつらいですね。</p>
八ツ藤委員 (国)	<p>食ロス問題も当然、相当前から話が出てきておまして、恐らく各市も食品ロスを減らすためにいろんな努力、あるいは提携して食品ロス協力店みたいな形で認定をしたり、相当やっておられると思うんですよね。市民も相当これは意識していると思う。結構フードロスなんか、持込みも最近増えたという話も聞いております。</p> <p>だから、このアンケートをとるときは、今さらという感じが多分にあると思うんですけど、なぜこのきっかけにということも必要だろうと思うし、それを有効に利用できるのか、あるいは3市それぞれの市の施策に反映されるのかとか、そういうことを考えておかないと、アンケート取って、その結果を市報に載せるということだけで終わってしまうと思う。恐らく今、相当食品ロスについては、インターネットでも物すごく数が出てきておりますし、食品ロスを減らす方法もいっぱい出てきておりますので、関心のある人はそういうことをもう既にやっている方も多いと思うので、時期としては、恐らく10月の全国一斉の食品ロス削減月間がタイミングとしてはいいと思います。その辺、やり方をよく検討していただければと思います。</p>
林委員 (小)	<p>今さらと言われると、いやいや本当にそうなんですよね。私も今回このリーダーを務めさせていただいて、ネットで調べると、世の中に大量にあることが分かった。それから国もいろんな資料を作って、もう大量にあるわけですね。だから皆さん、それを目にしていれば、今さらなんですよね。</p> <p>ところが、本当に目にしているだろうかという疑問があって、特にスマホを使っている若い世代、実は打ち合わせの中で出たお話の中では、スマホだと高齢の方があまり対象にならないんじゃないかという心配もありまして、今回は、どちらかという若い世代の方にもっと知ってもらおうような、1人でも多くの方に、食品ロスって何、聞いたことはあるけど中身はあまり考えたことなかったよというような方に啓発ができればいいかなということでの取組なんです。</p> <p>だから、本当におっしゃるとおり、今さらというのは、私もこの責任者をやっていなかったら今さらと言っていますよ、きっと。</p>
佐藤委員 (国)	<p>この減量グループ、今さらというのは、林さんと同じように確かに今さらと言ったら今さらなんですけど、要は、情報とかたくさん出ておりますけれども、要するに自分のこととして取り組むかどうか、そこが課題だと思うんです。そういう意味で、情報はあっても自分に関係ないという状況であれば食ロスの削減は進まないと思うんです。</p> <p>そういう意味で、何か行動を起こさないと、それこそそのままになってしまう。だから、今さらとは言いかもしれないけども、この今さらが</p>

ゼロじゃなくて一步の始まりというふうに考えて、苦心して今、林委員長が紹介してくれましたけど、これを通して自分のこととして取り組んでもらう、それが一番大事なのかなと。情報はありますけど、情報は情報、自分は自分、自分のことなんだと思ってもらえたらいいなと思います。

そしてまた、話が飛びますけど、さっきの情報グループが作ってくれた最後の食品ロスを減らそうというページのところに、これ、具体的に書いてあるなと思って喜んでいたんですけど、具体的に食品ロスの原因という項目で、食べ残し105万トン、手つかず食品105万トン、これ、令和3年度のデータの様ですけど、これを見て、えっと思う方もいると思うんです。こんな意味で、何か意識、自分のものとして考えてもらえたらいいなということで、これを一生懸命考えたわけです。以上です。

宮脇委員長

そうなんですよね、今ちょうどたくさん御意見出ているんですけど、うちは学生がいっぱいいるんですけど、もう情報過多ですから、スマホでスクロールして行って、よほど気に入ったところしか、そこから先の情報を取りにいかない。ニュースを見ろというんですけど、今週あったニュースをちょっと言ってごらんと研究室のゼミで毎回やるんですけど、もう、たわいのない話しかないですね。何か昨日殺人事件があったらしいとか。そうじゃなくて、国際情勢とか誰それがどこかに行って何か話したとか、そんなのいっぱい出てるじゃないと言うと、いや、そんなのは気がつきませんでした。スクロールするんですが、そういうタイトルは通過しちゃうんですよね。

ですので、今おっしゃるとおりで、とにかく機会を設けて、そこに引かかるようにするって、すごく大事な時代になってきたのかなと思っています。今さらなんですけど、多分そこに目が留まる方はここにいらっしゃるような方だけで、年代問わず多分スマホを持っていて見ても通過してしまう、多分食品ロスって書いてあるキーワードを見ても、そこでボタンを押して中身を見るという人は非常に少ないと思うんですよね。

そういう意味でぜひ、いろいろ考えていただいて、先ほど言ったように105万トンの話なんて非常に大事なんですよね。今はまだお金を払えば食べられると思っている日本人ですから、大量の食品を海外から輸入しても誰もあんまり思っている人は非常に少なく、多くのお金で買ってくればいいぐらいな感じになっていて、おいしいもの食べればいいじゃないかみたいなのところがあるんですけど。じゃあ、果たして後20年後、30年後に日本でちゃんと物が食べられるのかというのは、やっぱり大事なところかなと思う。

何かこう、若者にも引かかるようなところがあると思うんですよね。若者と言わず40代でも、まだまだ後20年後、30年後に食べ物が無くなっちゃうかもみたいな、本当に切実なところで引かかって欲しいんですけど、多分40代の方もあまり引かかって無いんじゃないでしょうか、というのが個人的な感想で、50代でも変わらないかもしれませんね。私の周りでそんなこと思っている教員もあまりいないみたいです。環境の教員は別ですけど。それ以外の教員は多分、食品ロス、ああ、そういうのがあるらしいぐらいの人がいっぱいいます。すいません、ちょっと余計な話でした。

ぜひ、こんなふうにしたらこういう世代は引っかけりそうみたいなものが、多分世代によっていろいろなので、いろんなアプローチでこのQRコードまでたどり着けるように検討していただくといいんじゃないかなというふうに思っています。すいません、私のちょっと眺めだけでした。ありがとうございます。

設問は少ないほうがいいと思います。私の授業アンケートも設問数を多くしたら回答率が非常に下がって大変なことになりました。年代層によるとは思いますが、何か学生さんに聞くと、2分ぐらいを超えたらやらないという、そんな感じです。もうあと一、二問はいけるぐらいかなと思いますけど、それ以上はかなり難しいなというふうに思っています。

先ほど年齢層の高い方にはちょっと今回はと言われたんですけど、ただ、今、どうでしょうか、70代の方といっても意外とスマートフォンを使われている方は結構いらっちゃって、楽しみながらというか、本当に、逆に言うと興味があることについてはちゃんとうまく活用されている方もいらっしゃるので、そういう方は結構答えていただけるんじゃないかなというふうに思っていますので、使いやすいアンケート、比較的この項目なら何か取っつきがいいなという感じはしました。

小野寺委員（日）

アンケートにつきましては、アンケートの結果そのものでなくて、アンケートに答えてもらうということで市民を巻き込むといいますか、そういう狙いも一つはあるということ、佐藤さんがおっしゃったとおりです。

それからもう一つ、今日、併せて配られました資料があるんですけど、3市のごみ減量資源化の取組課題の整理という資料です。これは私が作ったものなんですけど、どういう意図でこれを作ったかといいますと、最初に、3市が現在取り組んでいるものを整理してみたんです。作ってみましたけど、それじゃほかの市がやっているもので3市がやってないものがあるんじゃないかということで、ほかの市も調べたんです。環境省が毎年リデュースだとかリサイクルの取組のベスト10というのを発表しているんですけど、一応、市に全てどういう取組をやっているか確認してみたんです、ネットで調べてみたんです。そうしたところ、実に、3市がやっていない他の市がやっているというものは本当に1つか2つしかなかったんです。3市はすごいことやっているんだなって、改めて感じました。

今後、これはどういう使い方をするかといいますと、現在、3市でこういうことを今後取り組んでいこうじゃないかということを経験してあるんですけど、それ以外に、今後この検討会を実施するに当たって、これを参考にして、この中から選んだらどうかという狙いもありましてつくってみました。以上です。

宮脇委員長

今、いろいろ調べていただいたら3市はほとんどのことをやっていたということで、非常に心強い感じがいたしました。それだけ多摩地区は、特に全国的にもかなり市民の協力も非常に高い地域でございますので、さらなる向上を目指すといいますか、そこにはやっぱり苦労が、簡単には進まないというところがあるんだと思うので、やっぱり意識を高めていけるような方策を皆様の御意見をいただきながら進めていければなというふうに思っています。ありがとうございます。

<p>林委員（小）</p>	<p>そんなところでよろしいでしょうか。大分時間が来ていますけれども、いかがでしょうか。アンケートに関してはその辺りでよろしいでしょうか。</p> <p>またグループで少し詰めていただく、先ほど言われていたように意見交換していただくということですので、ぜひぜひよりよい形になるように進めていただければと思います。</p> <p>アンケートが得意な先生がいらっしゃるでしょうか。廃棄物減量の委員の先生で、多分、小金井市関連でちょっとお手伝いしていただいているような大学の先生で、この系統のアンケートが得意な先生がいらっしゃるかと。多分、食ロスで、研究レベルで何か調査したりとかをされている方々が。ちょっと聞き方とか、逆に深まっちゃうと困るので、そこはちょっと調整していただくとか。</p> <p>研究者だと、ちょっと深まり過ぎてしまうかもしれない。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>そうなんですよ。もっとこんなのも聞いたほうがいいのか、ちょっと難しいところあるので、そこはそこで目的がちょっと違いますのでね。私なんかは、逆に言うと食ロス専門でない、全体的なところでここをポイントとして専門にしていないので、非常にバランスがとれた設問だなというふうには感じております。</p> <p>ありがとうございます。すいません、ちょっと余計なことでした。</p> <p>それでは、少し先へ行きたいと思います。次第としては、その他になるんですけども、全体を通しまして、委員の皆様方で何か御発言したい内容とか言い忘れた内容とかあれば、今、お伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>大丈夫そうですかね。急いで今日言わなくても、後日、各市の行政委員の方を経由して全体へ意見を流すことも可能ですので、もしあれば、そのような形で御意見をお送りいただければと思います。</p> <p>それでは、その他について、何か事務局からございましたらお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>3市ごみ減量推進市民会議でございますけれども、令和4年度につきましては、全体会議を3回、また小委員会につきましては、情報発信グループを3回、減量グループを5回開催をしております。まず、委員の皆様につきましては、御出席いただきまして誠にありがとうございました。皆様のおかげで、各グループともに5年度の実施に向けた実りある議論ができたものと考えてございます。本会議の任期でございますが、令和6年3月31日までとなりますので、令和5年度も引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>1点ですが、事務連絡がございます。減量グループでございますが、先日の小委員会で報告をさせていただきましたけれども、本日の会議終了後に打合せのほうをさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上です。</p>
<p>宮脇委員長</p>	<p>ただいま事務局から説明ありました件ですけれども、何か御質問とか御意見とかございましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか。あと、3月までですという話ですので、きれいな形で成果が、今のペースですといい成果が出るのではないかなと期待しているところ</p>

事務局	<p>でございます。</p> <p>よろしいでしょうか。それでは、この議題についてはこれまでとさせていただきます。</p> <p>それでは、御意見もないということでしたので、本日の議題は全て終了とさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>それでは、進行を事務局にお戻ししたいと思います。</p> <p>本日はお忙しい中、また、お暑いところ御出席いただきまして、誠にありがとうございました。</p> <p>次回の全体会議の日程でございますが、例年では10月または11月頃を予定してございます。日程・会場が決定次第、皆様に御連絡をさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは、これをもちまして、令和5年度第1回3市ごみ減量推進市民会議を閉会いたします。本日はありがとうございました。</p>
-----	--